



はやね はやおき 朝ごはん テレビを止めて外遊び

きずな

～きらきら ににこ いきいき～

平成29年度
別海町立上西春別小学校
学校だより No.14
平成30年3月23日
発行責任者
校長 奥村 繁義

夢は努力の先にある

例年になく穏やかな冬でしたが、雪と氷に覆われた季節も終わり、柔らかな陽の光に、春の訪れを感じるころとなりました。

さて、先日3月20日に卒業生25名が、たくさんの思い出を胸に、6年間学んだ上西春別小学校を旅立ちました。この1年間先頭に立ち学校を引っ張ってくれた6年生に、心から感謝したいと思います。そんな卒業生に向けて、卒業式で次のお話をさせてもらいました。

二十五名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。私と皆さんの付き合いは、わずか一年でしたが、数々の場面で皆さんには感動させられました。とくに運動会や、学習発表会で発揮したリーダーシップや積極性には目を見張るものがありました。この上西春別小学校の顔として、「きらきら」「ににこ」「いきいき」とした姿や、当たり前のことを当たり前に行う行動力は、大変立派でした。

さて、六年間の小学校生活を終え、卒業証書を手にした感想はどうか。皆さんは今日ここに小学校の課程を修了して、中学校へと進学します。おそらく、小学校での生活と大きく違う点が多く、戸惑うこと、つらいことも多々あると思います。でも、それを自分たちの力で乗り越えていかなければなりません。

先日、三月七日に本校の卒業生である郷亜里砂選手が学校を訪問してくれました。郷選手は、先月行われた平昌オリンピックに初出場し、スピードスケート女子500mで8位に入賞しました。皆さんもパブリックビューイングやテレビ画面で応援してくれたことと思います。何度もあきらめかけたけど、歯を食いしばって努力を続けた成果が、素晴らしい栄冠をもたらしたのだと思います。その姿に、私たちも夢と感動をいただき、多くのことを学びました。

その中から、卒業する皆さんに贈りたい言葉があります。

それは、「夢は努力の先にある」という言葉です。

二学期の図工で「十二年後のわたし」というテーマで紙粘土を使った作品を作ったのを覚えていますね。未来の自分を想像したり、夢を形にしたり、皆さん集中して上手に仕上げていました。その夢を実現させるためには、努力が何より大切となります。「夢は努力の先にある」

時々、思い出してみてください。

この1年間、上西春別小学校25名の教職員は、児童の成長を願い、保護者の皆様や地域の皆様の御支援のもと、それぞれの持ち味を生かし、指導にあたってまいりました。至らぬ点が多々あったと存じますが、1年間本当ありがとうございました。

来年度は、今年度以上充実した教育活動が行えるよう、一層努力してまい

りたいと思います。来年度もかわらぬご理解とご協力をよろしく願いいたします。



校長 奥村 繁義